

エネルギーの安定供給を図り 企業の国際競争力を強化



徳山下松港・宇部港(山口県)

徳山下松港における石炭の流れ

発電した電力で身近な製品の基礎素材を製造



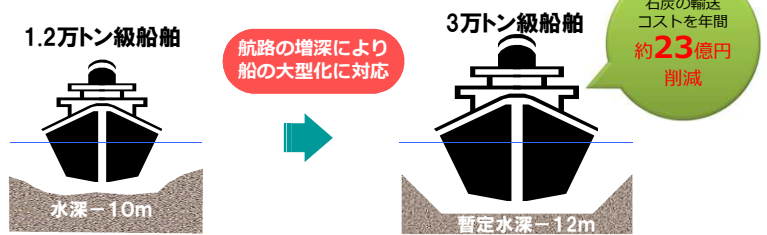
東南アジア、オーストラリア等から石炭を輸入

西日本各地の石炭火力発電所へ

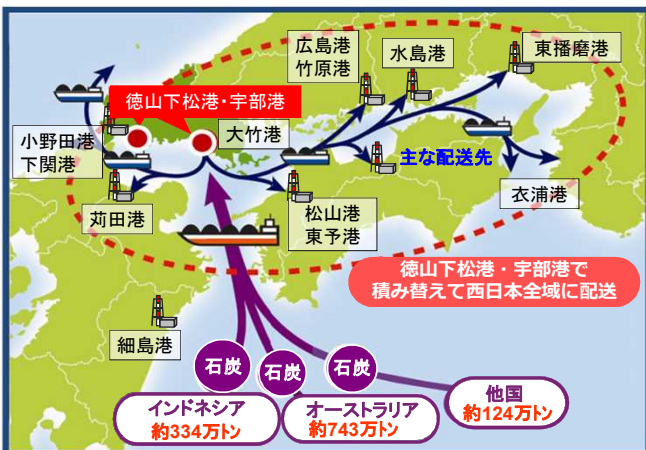
石炭輸入船の大型化

before >>> after

- 徳山下松港・宇部港周辺には化学メーカーが集積し、化学コンビナートを形成
- 化学コンビナートでは主に、石炭火力で発電した電力で基礎素材を生産
- また、西日本の石炭輸入拠点である徳山下松港・宇部港で積み替えて西日本全域に配送
- 岸壁等の施設を整備することで、より大型の船舶での石炭輸入が可能となり、石炭の輸送コストを削減

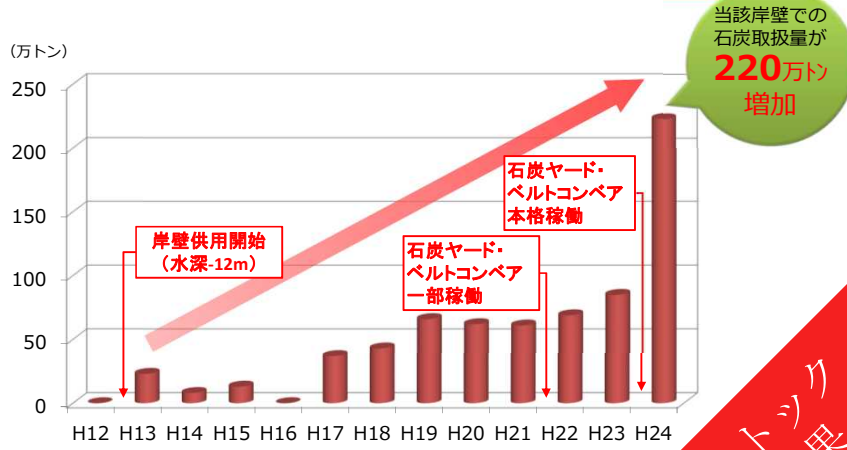


石炭の輸入・移出の流れ



※山口県は石炭取扱量 全国1位

整備した岸壁での石炭取扱量



当該岸壁での石炭取扱量が220万トン増加

ストック効果